

# 大分大学公開授業案内

大分大学は、日々の教育・研究・医療の成果を地域社会に還元して、地域との連携・共存を図り、その発展に貢献することを目指して、大学開放事業に取り組んでいます。

公開授業もその事業の一つです。公開授業は、決められた曜日・時限に開講される通常の授業を、学生と一緒に受講するものです。

みなさんの知的好奇心を満たすべく多彩な授業を公開しておりますので、この機会に是非ご応募ください。

## 開設期間

令和元年(2019年)10月1日(火)

～令和2年(2020年)1月31日(金)

## 対象者

市民一般

※学歴等を問わず、どなたでも受講できます。ただし、公開授業は、大分大学の学生が受講する大学の正規の授業を、学生と一緒に受講するものであるため、科目によっては予備知識を必要とする場合がございます。お申込みの際は、次頁「科目等一覧」にて授業概要をご確認ください。

## 受講料

1科目につき、

15回・14回：9,462円、13回・12回：8,434円、10回：7,406円

※平成29年(2017年)度 後学期～令和元年(2019年)度 前学期の間に受講した科目と同一科目を再受講する場合は、受講料が半額となります。該当する方は、申込時に再受講である旨をご記入ください。

※消費税率の引き上げが令和元年(2019年)10月1日以降に施行される場合は、受講料が変更となる可能性があります。申込みいただいた皆様には、振込用紙送付時に改めてお知らせします。

## ① 申込締切 2019年9月18日(水)

各授業の定員は10名です。ただし、科目によって別途定員を設けている場合がありますので、次頁「科目等一覧」の「授業概要」部分の記載をご確認ください。受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。定員に満たない科目については、受付期間を延長する場合があります。

## ② 申込先 大分大学高等教育開発センター(事務担当:学生支援部教育支援課)

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

T E L : 097-554-7641 (受付:平日9時～17時)

E-mail : kyokikss@oita-u.ac.jp ホームページ : <http://www.he.oita-u.ac.jp/>

## ③ その他

◎曜日・時限(時間)は都合により変更する場合があります。

また、受講者数が少ない場合は不開講とする場合があります。

◎正規の授業科目ですが、公開授業では学期末試験は受講不可で単位の認定は行いません。



# 令和元年(2019年)度

# 後学期公開授業科目等一覧

1時限 = 9:00 ~ 10:30

2時限 = 10:40 ~ 12:10

3時限 = 13:10 ~ 14:40

4時限 = 14:50 ~ 16:20

5時限 = 16:30 ~ 18:00

No.	曜日	時限	区分	授業科目	授業概要	回数	学部・職名	担当教員	開講キャンパス
1	月	1	教養	基礎中国語Ⅱ	基礎中国語Ⅰを基盤とした上で、引き続き中国語を強化し、中国語語学レベルのアップを目指します。それによって、中国に対する理解をさらに深めることができます。同時に中国の文化、歴史及び中国社会事情についての知識もさらに幅広くなるでしょう。	15回	経済学部 教授	包 聯群	旦野原
2	月	2	教養	英語ゼミナールF— 英語運用訓練Ⅱ	教科書の文章やテーマを使い、学生や他の受講者とペアで英語を話す実践的な授業です。英検2級を取得し、準1級を目指す方に最適です。内容:(1)聞き取り、(2)口頭和文英訳、(3)表現活用例文作成、(4)口頭要約、(5)10分間会話。年齢制限は70歳です。人数の関係で退職英語教員にはご遠慮願っています。育休中などの現役教員には英語力を伸ばす機会になっているそうです。教科書はImpact Issues 2。生協で販売。申込書に英語能力の情報を書いて下さい。(学生や社会人に刺激され話す能力が向上し、「はまる」とは受講者の感想です。)	14回	教育学部 教授	御手洗 靖	旦野原
3	月	2	専門	アジア文化論	漢字圏とは何を指しているのか、本講義では、中国をはじめとする漢字圏、およびその周辺における多様な言語と文化を学ぶことによって、中国の現在と過去を知ることができます。中国とえば、漢民族のみではなく、多様な言語と文化を持つ国でもあります。日本では、世界の地図をかつて改めて描いたとされるチンギス・カーンの子孫、現在の中国を300年近く支配した満洲人、そして、中国の西域で厳しい自然環境に対応しながら賢く生きているウイグル人、また中国ないしモンゴル国を含む広大な土地に仏教を広げたチベット人、それらの民族の言語と文化なども取り上げます。こうして、「中国」をなるべく「漢民族」のみに限定せず、本授業で中国の全体像を視野に収め、受講学生とともに中国の「旅」をしながら、視野を広げていきます。	15回	経済学部 教授	包 聯群	旦野原
4	月	2	教養	シネマで学ぶ健康と 家族・社会の明日	本授業では板書のみの一方向的な講義形態を排し、シネマやドキュメント映像を媒体として、「健康と福祉、家族・性・社会・いのちと人権」の内容について学びます。 扱う内容は、カーペンターズ物語を通して「拒食症」、NHKスペシャル「多様な結婚のかたち」を通して結婚と家族をめぐる現代的な諸問題、シンガーソングライター中村 中さんのドキュメントを通して学ぶ性同一性障害、向井亜紀さんのドキュメントを通して学ぶ「代理母」の問題などで、いずれもシネマやドキュメント映像を媒体として、グループディスカッションもとおした「健康と福祉、家族・性・社会・いのちと人権」を考える授業です。	15回	教育学部 教授	住田 実	旦野原
5	月	2	教養	化学史	「化学」は物質の構造、性質、および反応を究明する自然科学分野です。この講義では、「化学」の歴史を学ぶだけでなく、燃焼、表面張力、濡れなど、身の回りで起こる様々な現象を、物質の実態を原子・分子レベルで理解することで合理的に解釈できる視点の習得を目的とします。(化学の予備知識がなくても、理解できる内容です。物質や現象を原子や分子の視点で眺めてみたい方におすすめします。)	15回の うち10回 を公開	理工学部 准教授	檜垣 勇次 他	旦野原
6	月	2	教養	前近代日本の国家と 社会	日本史の授業です。一般的にも人気のある戦国時代を対象に、支配者である戦国大名側からみた「国家」(戦国大名の領国)の話と、被支配者である民衆側から見た戦国「社会」の話を双方向の視点から戦国時代について考えていきます。(メディア等で取りあげられる有名な戦国時代のエピソードは、後世になってから創られたものがほとんどです。本講義では、同時代の史料(現代語訳したものですが)を取り上げていきます。史料を通して戦国時代の「実像」を考えていきましょう。) ※公開講座受講者数は定員5名といたします。	15回	福祉健康 科学部 准教授	八木 直樹	旦野原
7	月	3	専門	小学校外国語活動 指導法	小学校の「外国語活動」・「外国語」を指導するための知識や技能を身に付ける授業です。受講生は65名の2年生です。内容:(1)外国語活動・外国語の目標の理解(誤解の解消)、(2)授業ビデオ分析、(3)教材研究、(4)small talk、(5)導入方法、(6)コミュニケーション活動、(7)文字指導、(8)指導案研究、教科書はWe Can! 2(大学生協で販売)。(具体的な指導法を体験する授業です。)	14回	教育学部 教授	御手洗 靖	旦野原
8	月	3	専門	政治経済学Ⅱ	本講義では、前学期の「政治経済学Ⅰ」に続き、マルクス経済学の基礎理論について講義します。そのうち特に、社会的再生産の構造と、それに基づく価格機構について考察します。(マル経は現在進行形でアップデートが進んでいます。マル経は古いというイメージが変わります。) ※担当教員の出張等により、開講スケジュールが変更となることがあります。	15回	経済学部 准教授	江原 慶	旦野原
9	月	3	専門	臨床心理学実践論	実践的な心理的援助法についてまなぶ。心理臨床場面においては、心理アセスメントと心理的援助法を適切に組み合わせて相談者の援助を行わなければならない。本演習では、カウンセリングという援助法を中心として、他にもプレイセラピーや、箱庭療法、夢分析、行動認知療法、自律訓練法、コミュニティモデルによる援助法などさまざまな援助法について具体的に学びます。 ※申込みの際は備考欄に、受講を希望する理由やどんなことを学びたいかを簡単に記入ください。	15回	福祉健康 科学部 教授	武内 珠美	旦野原
10	火	1	教養	医療情報学	医学部一年生向けの授業で、基本的には統計学の基礎を学びます。題材として医学に関連する事柄などを扱いますが深入りはしません。(専門知識は特に必要としておりませんのでお気軽に参加してみてください。)	13回	医学部 教授	岩城 貴史	挾 間
11	火	1	教養	カラダの見方・考え方	人の身体の扱い方や命の考え方に注目して、生命科学の歴史をたどります。取り上げる話題は、古代エジプトのミイラ、ギリシャ・中国・中東の医学、ルネサンスの人体描写、鎌倉時代の無常観、江戸時代の蘭学、現代の遺体衛生保存術(インバリーミング)、臓器移植、再生医療等です。歴史上有名な人物や作品が意外な事件とつながったりします。歴史的な事件の現代的な意味を考えます。(世間の常識がどのように作られたのか、宗教と科学の関係はなど、経験豊富な方ほど、楽しんでいただける授業です。)	15回	高等教育開発 センター 教授	牧野 治敏	旦野原
12	火	1	教養	身近な物理学	身近な物理現象を題材に、演示実験を交えながら解説し、物理的な原理について学びます。	15回	教育学部 教授	藤井 弘也	旦野原
13	火	3	専門	労使関係論	労働条件について、法律では最低限の労働条件規定しかなく、それは労使関係のあり方によって決まります。今日、労組の衰退もあり、集団的な決定から個別的な決定へと変化しています。こうした個別化が社会に与える影響をみていき、これからの生活保障と労使関係の関係について考えていきます。(初学者も歓迎です。一緒に考えていきましょう。)	15回	経済学部 教授	石井 まこと	旦野原
14	水	1	教養	海流とその研究	海洋物理学という研究分野があります。この講義では、海流の話題を中心に、次の3つの観点から海洋物理学を紹介します:(1)海流についての知見、(2)海洋物理学の進めかた・考えかた、(3)研究者の仕事と人生。主な内容は次のとおりです:地球と海洋、海水の分布と循環、海洋循環のしくみ、海洋観測、海洋観測航海、数値実験、研究者の仕事とキャリア。(話題に興味がある方の受講を歓迎します。)	15回	理工学部 准教授	西垣 肇	旦野原
15	水	1	専門	産業・組織心理学Ⅱ	産業・組織心理学Ⅱでは、産業組織心理学Ⅰで学んだ仕事への動機づけや消費行動、リーダーシップやキャリア発達などの産業・組織心理学に関する基礎的な理論を踏まえて、行動経済学のトピックに焦点を当て、人と経済の関わりについて心理学的見地から学びます。(経済学の基本的なトピックを復習しながら行うため、専門科目ですが比較的的理解しやすいと思います)	15回	経済学部 准教授	井川 純一	旦野原
16	水	2	教養	応用中国語Ⅱ	基礎中国語および教養中国語の修了者または同等以上の学力のあるものを対象に開講する予定。経済的に発展しつつある中国を知り尽くしたいと思えば、語学力を向上することが求められます。本授業では、語学のみではなく、中国の社会、文化事情などにも言及し、中国に幅広い理解を持たせたいと考えています。前期の内容に続き、後期では中国語学のさらなるレベルアップを目指します。	15回	経済学部 教授	包 聯群	旦野原
17	水	2	教養	地域における仕事と 社会	グローバル化が進んでも人々の生活基盤は地域にあります。そうした地域を支える仕事と地域社会の関係を講義していきます。本講義では雇用・キャリア形成・家族・ジェンダー・教育といった多面的な角度から分析していきます。特に若者が次世代に向けて地域・地方を基盤に活躍するための条件について、課題と解決策を提示します。(初学者も歓迎です。一緒に考えていきましょう。)	15回	経済学部 教授	石井 まこと	旦野原

No.	曜日	時限	区分	授業科目	授業概要	回数	学部・職名	担当教員	開講キャンパス
18	水	3	教養	インストラクショナルデザイン入門	インストラクショナルデザインとは、教育を効果的に、効率よく、魅力的にするための手法やプロセスです。企業や医療現場における教育、高等教育などで幅広く用いられているインストラクショナルデザインの基礎を、教材作成体験を通じて学習します。インターネットやオフィスソフトウェアの基本的な操作ができる方を前提としています。(ご自身の得意とする内容についてのオリジナル独学教材作りに挑戦してみましょう。)	15回	高等教育開発センター 准教授	鈴木 雄清	旦野原
19	水	3	教養	コミュニケーション入門Ⅱ	将来、社会人としてキャリア形成ができるようになるために、「自分を客観的に見つめる」キャリアデザイン力が求められています。「話す」「書く」「伝える」「聞く」ことは、不可欠な「コミュニケーション能力」です。情報の収集・伝達・交換・行動様式などを適切に実行できる非言語コミュニケーション能力を含む音声による Face to Face のコミュニケーション能力の向上に向けて、受講生の皆さんの成長を応援します。(公開講座です。先輩の皆さんの経験も教材になります。お待ちしております。)	15回	経済学部 非常勤講師	佐藤 裕哲	旦野原
20	木	2	専門	多文化共生論	この授業では、多文化共生という言葉により深く知るために、人種、国籍、民族などのヒトの区分に注目します。こうした区分がどのような経緯の中で生まれ、それが私たち自身の他者認識や私たちが暮らす社会・文化システムにどのように埋め込まれているのか、学びます。	15回	経済学部 准教授	久保田 亮	旦野原
21	木	2	教養	日本語学Ⅰ	日本語の音声、語彙、文法、方言などの分野について、基本的な仕組みを理解し、自ら分析できる力を養い、日本語に対する知識と興味を深めることを目的としています。日本語上級レベルの留学生及び日本語を客観的に学びたい日本人を対象とする科目です。(普段何気なく使っている日本語の様々なおもしろさに気付いてもらえたらと思います。)	15回	国際教育推進センター 准教授	坂井 美恵子	旦野原
22	木	2	教養	ユニバーサルデザインと人にやさしい社会	ユニバーサルデザイン(全ての人にとってやさしい、全ての人に配慮するという概念)の現代社会における具体的展開について考えていきます。特に日本の動きについて、ユニバーサルデザインに関わる製品開発やサービス提供、企業や自治体における取り組みなどを事例として研究し、課題を抽出します。それらをもとに、人にやさしい社会のあり方とは何なのか、それは実現可能なかどうかについても検討していきます。(暮らしと密着した内容です。超高齢社会のあり方を考える材料のひとつにしてください。)	15回	経済学部 教授	渡邊 博子	旦野原
23	木	3	教養	グローバル化と政治経済 (The Politics and Economics of Globalization)	The purpose of this module is to provide learners with an understanding of globalization from a political and economic perspective as it continues to dominate our lives – for good or for ill. What is globalization? In what ways has it impacted upon state sovereignty? What role has it afforded to global-level institutions? Why is there a growing political conflict between proponents and opponents of globalization?	15回	経済学部 教授	テイ スティーブン	旦野原
24	木	3	教養	小学校英語演習	基礎的な話す能力を身に付けることが目標です。受講者の教育学部2年生35名とともに学びます。内容は、(1)発音練習や英語の歌、(2)モデルスピーチの聞き取り、(3)自分に関する話題についての1分間スピーチやQ&Aです。ペアワークを多用します。教科書は『誰でも使える テーマ別 自己紹介の英語』(生協で販売)。(日英語間の橋渡しができる日本人教員ならではのユニークで楽しい【公開授業受講者がおっしゃる】授業をお楽しみ下さい。)	14回	教育学部 教授	御手洗 靖	旦野原
25	木	3	専門	ベンチャー実践論	ベンチャー企業に関する概念やそれを取り巻く社会経済構造の変化とともに、事業を生み出すうえでのアイデアの育成、収益の出し方、市場開拓や販売促進、差別化や事業の強み等を概観しながら、大分の企業や事業を取り上げ事例研究していきます。そして実際に、アイデアやテーマを考え、ビジネスモデルを構築し、その事業可能性等を検討し、様々な知識を用いながらビジネスプランを作成、場合によってはそれを実践していきます。(ビジネスプラン作成のためのディスカッションやグループワーク、発表等も行います。)	15回	経済学部 教授	渡邊 博子	旦野原
26	木	4	専門	プラズマ工学	自然界で稲妻やオーロラとして存在している「プラズマ」は人工的に作る事ができ、様々な科学技術に使われています。プラズマがスマホの脳みそである半導体デバイスを作り、また工場地帯の空をきれいに保ち、さらに小惑星探査機はやぶさ2の動力として使われています。この講義では、プラズマが役に立つメカニズムを明らかにします。(分子、電子、イオンが何なのか知っていれば理解できる内容です。)	15回のうち12回を公開	理工学部 准教授	市来 龍大	旦野原
27	金	1	専門	制度の経済学Ⅱ	私たちの意思決定は、集合的に「制度」(ルール・予想・規範・組織など)を形成し、また形成された制度は私たちの意思決定に影響をおよぼします。本科目では、制度と個人の行動との関係およびその動学的な経路について考察します。(ご自身がどのような常識の下で社会生活を営んでいるかを再検討していただきます)	15回	経済学部 准教授	金子 創	旦野原
28	金	1	専門	分子分光学	分子分光学は現代の幅広い科学分野に根差しており、実用的な分析手段を提供しています。分子分光学の基礎である電磁波などの基礎知識を整理しながら、特に分子を観測する分光法について理解を深めます。具体的な分光法として、振動分光、電子遷移スペクトル、蛍光分光をとりあげます。(基礎→展開→応用と段階を踏んで講義を進めていきます。原子、分子、電子を学んだことがあれば理解できます。)	15回	理工学部 准教授	原田 拓典	旦野原
29	金	2	専門	イノベーション学説史	私たちの日常生活を豊かにしてくれる様々な技術は、これまでの(なんらかの)「イノベーション」の結果です。本科目では、そのような現象が経済学においてどのようにとらえられてきたか、について歴史的に考察します。(イノベーションは非常に抽象度の高い概念なので、様々な観点から考えていただきます)	15回	経済学部 准教授	金子 創	旦野原
30	金	2	教養	医療倫理学Ⅱ	日常の医療における倫理と先端的、特殊な医療における倫理の考え方を概説します。(講義の他、学生と一緒に小グループのディスカッションにも参加して頂きます。)	12回	医学部 教授	今井 浩光	挾 間
31	金	2	専門	基礎経営論Ⅱ	基礎経営論Ⅰに基づき、『資本論』に依拠しながら、資本家の指揮(管理)の概念と意味を解いてゆきます。また、近代から現代における資本家の指揮(管理)の具体的な展開をお伝えします。	15回	経済学部 教授	藤原 直樹	旦野原
32	金	3	専門	都市経営論Ⅱ	都市計画は長らく都市経営の一環として正当に位置づけられてこなかった。だが、コンパクトシティ政策を契機として都市経営としての都市計画が生まれつつある。都市経営と都市計画制度を概説し、人口減少、空き家問題、インフラ危機などを背景として登場したコンパクトシティ論を解説する。	15回	経済学部 准教授	高島 拓哉	旦野原
33	金	3	専門	労働関係法Ⅱ	労働関係法Ⅱは、前期開講の「労働関係法Ⅰ」と併せて日本の労働法の全体像を理解することを目的とします。主に労働基準法、労働契約法、労働組合法の基礎的内容と判例法理の内容を解説します。職場で本来守られるべき法律上のルールを習得することを目指しますが、現場で実際に生じている労働問題と、労働関係法の限界点を知り、問題への解決方法を考える力を養うことも目指します。	15回	経済学部 准教授	小山 敬晴	旦野原
34	金	4	専門	健康心理学(健康・医療心理学A)	この講義では、身体的健康だけではなく、ストレスなどの精神的健康について理解することを目的とします。学部の専門科目であるため、対人援助職として実用的な技能について紹介します。具体例として、ポジティブ心理学、ストレスマネジメント、認知行動療法、動機づけ面接などを紹介します。(心理学は身近でとても役に立つ学問です。本講義では、あまり専門的な話題ではなく、身の回りの事例を取り上げて、心理学と健康の関連について紹介していきます。)	15回	福祉健康科学部 講師	岩野 卓	旦野原
35	金	4	専門	人事システム論Ⅱ	本講義は、リーダーシップやモチベーションなどの組織で働く個人に焦点を当てたマネジメント理論を学びます。グローバル化やダイバーシティの推進、働き方改革など、近年のビジネス環境は高度なマネジメント行動が求められています。また、自律的キャリアのようにマネジメント行動は管理職だけの話ではなく、一般の従業員にも求められます。働く個々人が、生き生きと幸せに働くためにはどうすべきか、組織が成果を上げるためにはどうすべきかについて、事例や受講生同士の議論を交えつつ、基本的な考え方を身に着けます。	15回	経済学部 講師	碓 邦生	旦野原
36	金	4	専門	数値解析	電気電子工学分野における研究・開発では、コンピュータ・シミュレーションが重要な役割を果たしています。授業では、電気電子工学の諸問題と関係の深いいくつかの数値計算法について、基本的な考え方や使い方を習得することを目的としています。(数値計算の真髄は「近似」にあると言っても過言ではありません。複雑な問題を近似で解き易くする術を感じ取ってください。)	15回	理工学部 教授	工藤 孝人	旦野原
37	集中		教養	知的財産入門	わたしたちの身の回りには「知的財産」がたくさんあります。ネット社会では簡単にいろんな情報を入手することができますが、正しい知識がないまま利用してしまうと誰かの権利を侵害してしまうかもしれません。これまで、「知的財産」は企業活動にのみ関係していると思われていたかもしれませんが、わたしたちひとりひとりに深い関係があることを学びながら、基本的な知識を身につけられるような講義を行います。(いろんな事例を使って、楽しく知的財産の基礎知識が学べる講義です) ※大分大学公開講座講習科規程第2条第3項により受講料は無料です。 ※公開授業受講者数は定員20名といたします。 10月27日(日)4回、11月10日(日)4回 全8回の授業を2日間で行います。	8回	産学連携推進機構 教授	富畑 賢司	旦野原

## 交通アクセス



### ■ 大学まで【鉄道】

#### ■ 巨野原キャンパス

大分駅～JR豊肥本線(12分)～大分大学前駅～徒歩(約10分)～大分大学

### ■ 大学まで【バス】

#### ■ 巨野原キャンパス

##### 乗車バス停(大分バス)

中央通り「トキハ前1番のりば」又は

JR大分駅府内中央口(北口)「大分駅前3番又は4番のりば」

■ 「大南団地(高江ニュータウン)」行き～(約40分)～「大分大学(構内)」又は「大分大学正門」下車

■ 「戸次」「臼杵」「佐伯」行き～(約40分)～「大分大学入口」下車 徒歩約10分

#### ■ 挟間キャンパス

##### 乗車バス停(大分バス)

中央通り「トキハ前2番のりば」又は

JR大分駅府内中央口(北口)「大分駅前4番のりば」

■ 「大学病院」行き又は「大学病院」経由～(約40分)～「大学病院」下車

※大学まで自家用車での通学も可能です。

## お申込方法等

- 申込フォーム <https://www.he.oita-u.ac.jp/2019bopenlec/> からお申込みください。  
右記QRコードからもアクセスできます。(申込フォームから正しく送信された場合は、「申込完了通知」が自動で送信されます。「申込完了通知」が届かなかった場合は、表面の申込先までご連絡願います。)
- 電子メールに【①受講する科目名②氏名(ふりがな)③性別④年齢⑤住所⑥電話番号⑦大分大学公開授業を知ったきっかけ(新聞折込チラシ、大学ホームページ等)】を記入してのお申込みも可能です。
- 電話、郵送、FAXでの申込みはできません。
- 申込み多数の場合は先着順とします。受講の可否については、申込締切後1週間以内にお知らせします。(受講不可の方には電子メールでお知らせし、受講可の方には各種ご案内書類を郵送します。)
- 原則として、納付された受講料は払い戻しできません。
- 授業プログラムが変更される場合があります。
- 科目によっては受講料の他にテキスト代及びその他の費用が必要になる場合があります。
- 本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めるとともに、担当教員の指示に従ってください。
- 本事業は授業時間内での学習を原則としており、授業時間外での質疑等には応じかねます。  
また、成績評価に関するレポート・小テストの採点についても対応しかねます。
- 受講にあたっては正規学生の学習の妨げにならないよう、ご配慮をお願いします。
- 本学の規則に違反したとき、学校の秩序を乱したとき、その他受講生としてふさわしくない行為等があった場合は、受講を停止する場合があります。  
その場合、納付済みの受講料は返還しません。
- 申込時に記入いただく情報は、公開授業の実施において必要な書類(受講者名簿等)作成の他、公開講座、公開授業の案内に関する情報として利用します。
- 受講風景を写真撮影し、本学ホームページ等へ掲載することがありますので、写真の撮影及び掲載をご了承いただけない場合は、申込みの際にその旨を備考欄にご記入ください。
- 申込内容に不備のある場合は、申込みが無効となる場合があります。



QRコード

QRコードはデンソーウェーブの登録商標です

## 2019年度後学期 大分大学学年暦

学 事	期 日	備 考
後学期授業開始	10月 1日(火)	(注1)
学園祭(医学部祭)	10月12日(土)～10月13日(日)	10/11 学園祭(医学部祭)準備休業(予定)
学園祭(蒼稜祭)	11月 2日(土)～11月 4日(月)	11/1午後 学園祭(蒼稜祭)準備休業
推薦入試	11月20日(水)	11/20 推薦入試休業(予定)
冬季休業	12月26日(木)～1月 5日(日)	
大学入試センター試験	1月18日(土)～1月19日(日)	1/17 センター試験準備休業
後学期振替授業	11月 7日(木)	月曜日の授業
〃	12月25日(水)	金曜日の授業
〃	1月14日(火)	月曜日の授業
〃	1月31日(金)	金曜日午後の授業(午前休業)

## 2019年度後学期 学年カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土	事 項
10月			1	2	3	4	5	① 1 開学記念日 1 授業開始
	6	7	8	9	10	11	12	② 11 医学部祭準備休業(挟間) 12・13 医学部祭(予定)
	13	14	15	16	17	18	19	③
	20	21	22	23	24	25	26	④ 22 即位の礼
	27	28	29	30	31			⑤
11月						1	2	1 蒼稜祭準備休業(午後) 2・3・4 蒼稜祭(予定)
	3	4	5	6	7	8	9	⑥ 7 月曜の授業
	10	11	12	13	14	15	16	⑦
	17	18	19	20	21	22	23	⑧ 20 推薦入試(予定)
12月	24	25	26	27	28	29	30	⑨
	1	2	3	4	5	6	7	⑩
	8	9	10	11	12	13	14	⑪
	15	16	17	18	19	20	21	⑫
1月	22	23	24	25	26	27	28	⑬ 25 金曜の授業
	29	30	31					12/26～1/5 冬季休業
				1	2	3	4	6 授業再開
	5	6	7	8	9	10	11	⑭ 14 月曜の授業
2月	12	13	14	15	16	17	18	⑮ 17 センター試験準備休業
	19	20	21	22	23	24	25	⑯ 18・19 センター試験(予定)
	26	27	28	29	30	31		⑰ 31 金曜日午後の授業のみ(午前休業)
							1	3 補講日
2月	2	3	4	5	6	7	8	(4 予備日)
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	

(注)

1 大卒の学事日程は、標準日(期間)を示したもので、学部・研究科で異なる場合があります。

2 休業日において、特に必要がある場合には授業を行うことがある(開講曜限は祝日の曜日と一致しないことがある)。